

**緊急課題解決 7 「三重の食を拓く「みえフードイノベーション」
～もうかる農林水産業の展開プロジェクト(主担当部局:農林水産部)」**

プロジェクトの目標

三重の食を拓く「みえフードイノベーション」の創出をとおして、本県の「食」の魅力等を生かした新商品が活発に生まれる環境整備や発信力強化、それを支える農・林・水のものづくり風土の醸成などに取り組むことによって、消費者が求める県産品が増加しています。

プロジェクトの数値目標

| 目標項目 | | H23 年度 | H24 年度 | H25 年度 | H26 年度 | H27 年度 |
|--------------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 「みえフードイノベーション」から生まれる新商品等の数(累計) | 目標値 | - | 50 件 | 100 件 | | 200 件 |
| | 実績値 | - | | | | |

各指標の H23 年度数値は現状値

目標項目の説明

「みえフードイノベーション」に係る活動等から創出される新たな商品等の数

進捗状況(現状と課題)

- 県内への誘客や県産品の販路拡大につなげるため、国内外で「食」や「観光」、「歴史」、「文化」など本県の魅力の発信に戦略的に取り組んでいます。また、平成 25 年夏の開設をめざす「首都圏営業拠点」では、三重ならではの特色ある魅力を前面に打ち出し、来場者に三重の魅力を「予感・体感」していただけるよう、市町や事業者と三重の魅力の見せ方も含めた具体的な検討を進めています。今後は、本県の魅力を首都圏等で面的に発信していくことが重要なことから、ネットワークづくりや販路拡大、観光情報の発信など、これまでの取組をベースに拠点整備に先行して、ソフトの基盤整備を進めるとともに、来年度に迫っている神宮式年遷宮や日台観光サミットをチャンスと捉え、営業活動をさらに強化する必要があります。
- 商品開発力の強化に向けて「みえフードイノベーションネットワーク」を設立するとともに、ネットワークを活用したプロジェクトを創出し、事業者連携による新商品開発に取り組んでいます。また、商品の魅力を磨き上げ発信するため、専門家による戦略的なブランド育成支援に取り組むとともに、マーケティングスキルの向上などに向けた研修会を開催しています。今後は、研究開発等と連携したさらなるプロジェクトの創出などに取り組み、商品の開発力を強化していく必要があります。
- 農林水産資源の高付加価値化に向けた地域の自立的な取組を促進するため、地域活性化プランの策定を支援するとともに、専門家の派遣や取組のスタートアップを促すハンズオン支援を進めています。また、「地域水産業・漁村振興計画」の策定支援に取り組んでいます。今後も、地域の自立的な取組の実践を支援するとともに、先行地域等の取組についてさまざまな機会を通じて情報発信することで、取組地域の拡大を図っていくことが必要です。

平成 25 年度の取組方向

来年度に県内で行われる神宮式年遷宮や日台観光サミットの機会等を最大限生かして、国内外で県産品の情報発信やブラッシュアップ、販路開拓等をさらに強化します。

特に、「首都圏営業拠点」が三重ならではの魅力を総合的に伝えることができるような施設運営に取り組むこととし、拠点を活用し市町や関係団体、三重ゆかりの企業や店舗等と連携する中で、営業活動のネットワークづくり、商談会による販路拡大や新製品開発機会の増加等に取り組めます。さらに、観光誘客やコアなファンの囲い込みにつながる講座等の開催による情報発信、デザイナーとコラボした伝統工芸品等のブラッシュアップ機会の拡大に取り組むなど、首都圏全体で面的な取組を展開し、三重の認知度向上や誘客等につなげていきます。

また、「みえフードイノベーション」のさらなるプロジェクト創出を促進し、産学官の連携を強化するなかで、県外からの来訪者を意識した売れる商品づくりを進めます。あわせて、地域の特徴を生かした戦略的なブランド化に向けた支援、マーケティングが実践できる人材の育成、農業・畜産・林業・水産研究所における商品化等に向けた研究成果の活用に取り組むなど、新たな三重の「食」を開拓し、県内農林水産業を牽引する売れる新商品の開発力の強化に取り組めます。

さらに、策定された地域活性化プランや地域水産業・漁村振興計画等の実践支援に取り組むことにより取組地域の拡大を図り、地域の自主的な取組を促進します。

これらの取組により、生産者や事業者による産学官連携を通じた売れる商品等の開発・販路開拓が自立的に取り組まれていく環境を整備し、三重県の強みである「食」の魅力等を生かしたもろかる農林水産業の実現につなげていきます。

主な事業

<実践取組 1> 「発信力・営業力の強化に向けた課題」を解決するために

雇用経済部

首都圏営業拠点推進事業

予算額：(24) 1,891千円 (25) 256,899千円

事業概要：平成 25 年の神宮式年遷宮、平成 26 年の熊野古道世界遺産登録 10 周年を迎える絶好の機会に、情報発信の中心である首都圏において、営業活動を総合的に進めるため、平成 25 年夏に「首都圏営業拠点」を整備します。首都圏営業拠点では、「食べる」、「買う」、「体験する」といった複合的な機能を発揮できるよう、効果的な施設運営及び情報発信を推進します。

(新) 首都圏営業拠点オープニング事業

予算額：(24) - 千円 (25) 8,805千円

事業概要：首都圏営業拠点のオープンに際して、三重ならではの魅力を前面に打ち出すイベントなどを実施し、「三重の玄関口」としての情報発信機能をPRするとともに、日本橋地域のゆかりの店舗や企業などと連携し、オープニングイベントを展開します。

(新) 戦略的営業活動展開推進事業

予算額：(24) - 千円 (25) 49,494千円

事業概要：首都圏全体の面的な情報発信に向け、県内市町や関係団体、事業者等との連携を図りながら、「首都圏営業拠点」を最大限活用していくとともに、営業拠点を核に、日本橋ゆかりの企業等との連携、さらには、三重の情報発信や営業活動にご協力をいただく「応援店舗」や「応援企業」と連携し首都圏全体の面的な取組へと広がって

きます。また、地域食材を使った商品の開発から販路開拓まで総合的に支援する新たな仕組みを構築するなど、戦略的な営業活動を展開します。

(一部新) 関西圏営業基盤構築事業

予算額：(24) 3,467千円 (25) 6,457千円

事業概要：関西圏でのコアな三重ファン獲得、ひいては観光誘客につなげるため、「オール三重フェア」と題したイベントを実施するほか、地域のイベントや展示会への参画、マスコミキャラバン等の実施、関心の高い歴史をテーマにした講座の開設等、さまざまな仕掛けを行います。また、関西圏の営業基盤の構築に向けて、県人会等の活性化や小売・流通業者に向けた営業活動を展開します。

農林水産部

(一部新) 三重県産品営業拡大支援事業

予算額：(24) 34,828千円 (25) 61,072千円

事業概要：大都市圏等のパイヤー等の県内招へい等により商談・意見交換を実施するとともに、首都圏営業拠点が設置される日本橋周辺における通年での情報発信に取り組みます。また、台湾及びタイにおいて三重県物産展を開催し、海外への輸出拡大を進めます。さらに、神宮式年遷宮にあわせ、全国の有名百貨店と協力して物産展を開催し、全国からの誘客と県産品の販路拡大に取り組みます。

エコブランド「あかね材」販売促進事業

予算額：(24) 9,972千円 (25) 10,296千円

事業概要：「あかね材」利用を進める工務店などの「パートナー企業」を創出し、住宅や商業施設等への利用拡大と認知度向上を図ります。

<実践取組2> 「商品開発力の強化に向けた課題」を解決するために

農林水産部

みえフードイノベーション運営事業

予算額：(24) 12,000千円 (25) 38,530千円

事業概要：県内の農林水産資源を活用し、生産者や食品産業事業者、ものづくり企業等の様々な業種や、大学、研究機関、市町、県などの産学官の多様な主体の知恵や技術を結集し、融合することで、新たな商品やサービスを革新的に生み出す仕組みを県内全域で形成できる取組として、「みえフードイノベーション」を推進します。

産学官連携「みえのリーディング農産商品等」開発事業

予算額：(24) 12,339千円 (25) 31,220千円

事業概要：産学官の様々な主体の知識や技術等を結集し、消費者のニーズに対応した農産商品や農的サービスの開発を行うとともに、農業者等への開発技術等の移転・普及を図ります。

産学官連携「みえのリーディング水産商品等」開発事業

予算額：(24) 25,112千円 (25) 23,822千円

事業概要：マダイ、ノリ、アサリ、マグロ等の三重県を代表する水産物について、「みえフードイノベーションネットワーク」と連携することで、産学官のさまざまな主体の知識や技術等を結集し、新たな商品開発、生産体制の強化、販路の確立等を進めます。また、カサゴ、ハギについても新商品開発等に取り組みます。

三重の未来を紡ぎ繋げる漁業振興事業（モデル構築支援水産基盤整備）

予算額：(24) 325,000千円 (25) 315,000千円

事業概要：英虞湾の堆積汚泥を浚渫により除去し海域環境を改善することにより、青ノリ、真珠等の品質向上を図ります。

戦略的ブランド化推進事業

予算額：(24) 9,484千円 (25) 13,148千円

事業概要：トッランナーとして特に優れた事業者の取組とその産品を三重ブランドとして評価、認定することにより、他の県内事業者に対し取り組むべき方向を示しブランド力の向上を促すとともに、認定事業者の優れた取組を通して三重県のイメージアップと三重県としてのブランド力向上を進めます。

フードコミュニケーションプロジェクト推進事業

予算額：(24) 15,505千円 (25) 7,978千円

事業概要：県内の特徴ある優れた産品を選定する「三重セクション制度」を実施し、営業活動を通じた販路拡大を支援します。また、首都圏等大都市圏への販路拡大をめざす事業者を対象に、商品の差別化、事業活動の信頼性や営業力の向上を促す内容の研修を行い、マーケティングを実践できる人材の育成を行います。

三重のリーディング産品を支える人材育成事業

予算額：(24) 2,668千円 (25) 2,361千円

事業概要：売れる農業を実践できる農業者を育成するため、農業大学校において講座と演習を組み合わせた講座制の研修を実施し、農業者のマーケティングスキルの向上を図ります。

雇用経済部

食発・地域イノベーション創出支援事業

予算額：(24) 9,920千円 (25) 6,158千円

事業概要：「みえ“食発・地域イノベーション”創造拠点」に整備された試験・研究機器を活用し、食品・薬事関連企業への技術相談や技術支援を実施することにより、食品関連企業等による高付加価値食品の製品化や新たな食品加工技術の課題解決などを支援します。

<実践取組3>「創造力の強化に向けた課題」を解決するために

農林水産部

地域活性化プラン推進事業

予算額：(24) 16,374千円 (25) 14,625千円

事業概要：地域の農業者をはじめ様々な関係者の創意工夫のもと、農地、景観、文化、人材など地域資源を有効活用する取組のスタートアップを促し、その実践を支援することで、地域の取組の発展や農産物の高付加価値化等の新たな価値創出につながる取組を進める集落や産地等の育成を行います。

水産業・漁村振興計画策定事業

予算額：(24) 3,000千円 (25) 9,900千円

事業概要：地域自らが取り組む「地域水産業・漁村振興計画」について、平成24年度までに策定した地区での計画の実践を支援するとともに、新たな地区での計画の策定を支援します。

すごいやんか三重のいなかビジネス展開事業

予算額：(24) 7,409千円 (25) 6,714千円

事業概要：農山漁村地域の雇用の場や所得機会の確保、農林漁業者の生きがいつくりなどにつなげるため、地域の豊かな資源を活用したモデルビジネスの取組を支援することにより、地域の自立・発展が可能となるような「いなかビジネス」の取組の拡大を図ります。